

チャレンジ項目記入数 12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		経営理念及び品質方針を明文化し、社内に掲示するとともに、年1回のISO内部監査を通じて社員へ説明し共有している。 社員は、経営理念に基づく各部署・個人の目標を設定し、業務において実践し、やりがいを感じている。								8	9								17			
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		法令に関する事項は、社内全体会議や社内メールで周知している。 各種研修や社内教育を実施し、コンプライアンス推進を行っている。																	16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		公正な取引の重要性を社内全体会議で社員に周知し、会社取引の透明性を高めている。 協力会社との取引に当たっては、取引条件を明示した契約書や注文書を取り交わし、公正な取引に取り組んでいる。											10							16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		エコアクション21を取得し、環境管理責任者を任命している。 事業活動の中で社会・環境に及ぼす影響を把握し、環境経営活動レポートで情報を社員に周知している。																		16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		施工物件の設計図書や施工データを外付けハードディスクに保存し、社内で保管している。また、他社の設計図や技術資料を無断で使用せず、使用する場合は必ず権利者の許可を得る。								8.2 8.3	9									16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		業務上知り得る個人情報や顧客情報などは、パソコンのセキュリティを強化し、情報漏洩防止を行っている。 紙ベースのデータは、所定の場所に施錠管理している。 不要になった個人情報を含む資料は、シュレッダーで処分している。 年に一度、個人情報保護についての社内研修を開催している。																		16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		顧客、協力会社とは見積り金額・工程・工期について打合せを行い、地元住民には現場説明を行い、それぞれの要求事項を確認し、工事会議で社内展開している。 金融機関とは決算情報や経営状況を共有している。																		16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスマント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5			8		10		12	13	14	15	16	17			
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●										9		11		13.1							16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		事業承継のセミナーへ参加し、後継者の指導・育成に取り組んでいる。						8	9					12	13	14	15	16			17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2		5		8						12	13	14	15	16			17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスマントを防ぐ体制を整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		雇用条件及び社内環境において差別や人権侵害がない体制を徹底している。 総務部がハラスマントの相談窓口となり、相談できる体制を整えている。			4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		現場ではKYT活動、安全パトロールを実施している。 熊本県産業資源循環協会主催の労働安全研修会に参加し、意識向上を図っている。		3					8.8													
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		就業規則にもとづき、年齢・職務・技術技量・労働量により適切に賃金を支払っている。 同一労働同一賃金に沿って、従業員の就労状況を把握し、随時給与形態の見直しを行い、すべての従業員へ公正な待遇を行っている。				5.5			8.5		10.2 10.3											
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		残業時間の管理を行い、業務の効率化による働き方改革への取組みを行っている。 就業規則で、育児休業・介護休業制度を定めている。		3		5.5			8.5 8.8		10.3											
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		技能講習、国家資格取得の経費を支援している。 職務に応じた外部研修の受講を行っている。 資格取得者には、資格手当を支給している。			4	5.5			8	9												
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		定期健康診断の全社員の経費補助を行っている。 地域産業保健センターを利用し、健康診断結果に基づく医師からの意見聴取や個別訪問による産業保健指導を受け、社員全員の心身の健康増進による、快適な職場づくりに取り組んでいる。		3					8											17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		性差のない雇用を行っている。 外国人技能実習生を3人雇用している。 定年後の人材を再雇用し、技術と知識を後進の技術向上に繋げ、知識の継承・後進の成長による事業の経済成長を促進している。			4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3									16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●				3					8	9.1		11	12									
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		ICT活用対象工事でドローン測量を取り入れ、出来形管理を行い、工期の短縮と業務の効率向上に繋がった。 施工管理ソフトや電子黒板を導入し、管理の効率化、作業の円滑化を取り組んでいる。							8	9.1		11	12									
	21	【プライム企業】 ・プライム企業に認定されている。	●	●	2025年7月に申請済み。		3	4				8	9			12									

チャレンジ項目記入数 12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		エコアクション21を取得している。 現場で発生する廃棄物をマニフェスト伝票で管理し、適正に分別し処理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		エコアクション21の環境活動自己チェック表を活用し、エネルギー使用量を把握し、環境経営レポートを作成し社員へ周知している。 事務所内の照明はLEDライトへ交換し、不要照明の消灯や空調機フィルターの定期的清掃を行い、削減に取り組んでいる。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		エコアクション21の環境活動自己チェック表を活用し、温室効果ガスの排出量を把握している。 エコドライブの実施、現場への車両の相乗り等を行っている。 現場での車両、建設機械、発電機などは環境配慮型を使用して削減に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないよう配慮している。	●		河川工事を行う際は、汚濁水の流出がないかどうかを確認し、排水ポンプの汲み上げ水は、水路沈殿池を通してから河川に流すなど、汚濁水等の適切な処理を行っている。					6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		ペーパーレス化や両面印刷の活用、裏紙の使用、まとめて印刷の利用を行っている。 地域の資源ごみ回収を利用して、リサイクルに取り組んでいる。							9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		社内では、節水ステッカーによる目で見る周知を行い、現場の仮設トイレで使用する水や、会社敷地内の花壇等の水には雨水を使用して、節水に取り組んでいる。 現場では、汚濁水等の適切な処理を行っている。		2.4				6.1 6.4 6.6 6.b					11.5		14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		事務用品のファイルや筆記用具等は、エコマーク・グリーンマーク製品の購入を行っている。 現場では、コンクリート2次製品や植生工等の施工に環境型の製品を取り入れている。							9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		会社敷地内の樹木は、年2回剪定を行い、花壇は定期的に手入れや植生を行い、緑地の保全と管理に取り組んでいる。 自社所有の竹山の竹林整備を行い、森林保全に取り組んでいる。										11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		社内の照明器具をLEDに交換し、屋外の照明は人感センサーへ交換している。 工事現場では、太陽光エネルギーを利用した照明の装置や工事看板を活用している。					7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●						6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		ペットボトルのプラスチック類の分別に取り組んでいる。											12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		一部社用車は、ハイブリッド車を使用している。								9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2

チャレンジ項目記入数 12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		ISO9001を取得し取り組んでいる。 引渡し前に社内検査を実施し、安全の確認や品質の確保に取り組んでいる。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		民間工事の手摺取付などのバリアフリー施工や、公共施設のエレベーター設置工事等の施工を行っている。									9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		施工に必要な山砂、砕石等は、県産原材料を積極的に使用している。	2.3 2.4						7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●								7					12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●		治山工事を行うことで山林の荒廃化を防ぎ、緑の保全に取り組んでいる。 災害復旧工事など突発的な道路・河川の維持修繕等の依頼に迅速に対応している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		ロードクリーンボランティアを年6回行っている。 日本赤十字社への寄付を毎年行っている。 町の地域行事への協賛や行事への参加など、積極的に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		緊急を要する災害の際の連絡・対応の体制を整えている。 防災備蓄としては、大型土のう袋、ブルーシートなどを緊急時の災害に対して備えている。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		防災協定に基づき、河川巡視を行っている。 震度5以上の地震、時間雨量30ミリ以上の場合、公共施設の点検を行い、災害廃棄物が発生した場合の仮置場設置場所を市町村と協議し、事前対策を行っている。 複数の社員が地域消防団の活動に参加していて、消防団行事への参加や勤務時間中の出勤も優先的に行っている。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●											9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受け入れ】 ・職場体験、インターンシップの受け入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		地元中学校の職場体験、高校生のインターンシップの受け入れや地元中学校での職業講話を実施し、建設業の役割と魅力を次世代へ伝え、人材育成に取り組んでいる。			4					8.6		10.2						17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		土木科、建築科を有する県内の高校への求人に加え、他の高校へも求人を広げ、地元学生を積極的に採用している。 自社PR動画を作製し、地元高校での企業説明会に参加している。				4.4				8.5 8.6									17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●			2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。